
令和3年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和3年3月2日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員（立民フ）
- 2 安西 英俊 委員（公明党）
- 3 みわ 智恵美 委員（共産党）
- 4 山田 一誠 委員（自民党）
- 5 草間 剛 委員（自民党）
- 6 鈴木 太郎 委員（自民党）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（立民フ）

1 令和3年度教育予算について

令和3年度教育予算案に対する所感について伺いたい。

2 肢体不自由特別支援学校における医療的ケアの体制整備について

(1) 学校看護師を増員することによる具体的な効果について伺いたい。

(2) 学校看護師の人材育成の取組について伺いたい。

(要望) 肢体不自由特別支援学校における医療的ケアの体制整備が一層充実していくことを要望する。

3 中学校給食について

(1) ハマ弁事業の振り返りや喫食率の目標を達成できなかった要因について伺いたい。

(2) 令和3年度から始める中学校給食における喫食率の目標と目標期間について伺いたい。

(3) 利用者が増えた際の配膳方法の工夫について伺いたい。

(4) 各校の配膳状況を保護者に積極的に広報すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(5) 改善ニーズに加えて、今後の利用希望を把握するためのアンケートを改めて実施すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(要望) アンケートを実施する際には、「なぜ利用しないのか」「どんな給食を希望するか」などを把握し、全員喫食を含めて、より良い中学校給食の実現を検討していくことを要望する。

4 G I G Aスクール構想について

(1) 端末の使用率等の目標値について伺いたい。

- (2) 使用率・進捗状況に関する数値目標を持って評価、管理すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (3) CBT（コンピューター上で行うテスト）化のスケジュールについて伺いたい。
- (4) 学習履歴の収集・活用に向けた取組について伺いたい。
- (5) 保護者との連絡について、原則として早期にオンラインによる完全ペーパーレス化に移行すべきと考えるが、総務部長の見解を伺いたい。
- (6) タブレット端末の持ち出しを早い段階でできるようにすべきと考えるが、学校教育企画部長の見解を伺いたい。
- (要望) 教育環境をいかに評価してもらうか、教育現場が充実しているかを伝えるためにも、端末の使用率等を数値目標で評価、管理し、発信していくことが重要である。学校間で使用状況の差が生じないように取り組むことを要望する。

5 教職員の人材確保と育成について

- (1) 自分づくりパスポート活用の効果とその効果を引き出すための取組について伺いたい。
- (2) 教職大学院派遣の成果について伺いたい。
- (3) 企業等研修派遣の成果と今後の取組について伺いたい。
- (4) 教員採用試験の受験者の増につながるよう取り組むべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

6 教職員の働き方改革について

- (1) 障害者就労施設へのアウトソースの意義についての見解を伺いたい。
- (2) 障害者就労施設のビジネス機会の拡大に向けた取組について伺いたい。

7 不登校児童生徒への支援について

- (1) 教職員の主観による原因分析だけではなく、支援に当たる人たちのアプローチ方法にもプラスになるよう、個々のケースを科学的に分析する必要があると

考えるが、教育長の見解を伺いたい。

- (2) 不登校児童生徒に対する、小学校での支援を手厚くするなど義務教育の早い段階からの支援が重要であると考えているが、教育長の見解を伺いたい。

8 小学校の35人学級実施に伴う施設整備について

- (1) 教室増の見通しと対応について伺いたい。
- (2) 多様な学習活動に対応できるよう、施設整備の考え方を見直すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (3) 公共建築物の再編整備の観点から複合化やPFIなどの導入の推進について伺いたい。

9 図書館の充実について

- (1) 人口に対する図書館数や市民一人当たりの蔵書数が少ない現状について伺いたい。
- (2) 図書館を新設し、図書館数を増やすべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (3) まちづくりにおける図書館の活用について伺いたい。

2 安西英俊委員（公明党）

1 中学校給食の実施について

- (1) 4月からの中学校給食の実施に向けた準備状況について伺いたい。
 - (2) 小学生への中学校給食の理解促進に向けた取組について伺いたい。
 - (3) 給食開始に向けた広報の取組状況について伺いたい。
 - (4) 給食化にあたり注文方法など利便性向上の取組について伺いたい。
 - (5) 中学校給食の実施にあたり、横浜らしい給食を提供することについての意気込みについて伺いたい。
- (要望) 新入生も含めた生徒や保護者が給食を利用しやすい環境づくりを進め、食育の一層の推進を図っていただくことを要望する。

2 ゲーム障害、ネット依存に関する実態調査について

- (1) 今年度の調査内容について伺いたい。
 - (2) 学校におけるゲーム障害に関する課題について伺いたい。
 - (3) ゲーム障害について、横浜市がリーダーシップをもって対応して行くべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (要望) 幼少期からの啓発の仕組みを考える等、社会全体の問題として捉えていくべきである。施策の推進計画を策定していくことを要望する。

3 特別支援学校における医療的ケアの取組について

- (1) 医療的ケアが必要な児童生徒がスクールバスに乗車できない理由について伺いたい。
 - (2) 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援の長期的な目標について伺いたい。
 - (3) 人工呼吸器児の保護者の付添解消に向けて、看護師を派遣する理由について伺いたい。
 - (4) 全校に施策を展開するために必要な取組について伺いたい。
- (要望) 校内・校外の人材が一丸となって、特別支援学校における医療的ケアの取

組を進められるよう、強力にバックアップしていただくことを強く要望する。

4 学校業務のアウトソースについて

- (1) 学校業務のアウトソースの取組状況について伺いたい。
- (2) 今後に向けた意気込みを伺いたい。

5 G I G Aスクール構想について

- (1) G I G Aスクール初年度の授業での I C T活用イメージについて伺いたい。
 - (2) I C T支援員が現場での支援をスムーズに行うための取組について伺いたい。
 - (3) 学習者用デジタル教科書についての対応について伺いたい。
 - (4) 中長期的な視点での進捗管理について伺いたい。
- (要望) 現場の声を積極的に取り入れながら、横浜らしい取り組みを進めることを要望する。

6 不登校等の課題を抱える児童生徒への支援について

- (1) 不登校児童生徒への支援にあたっての課題について伺いたい。
 - (2) 課題を踏まえた不登校児童生徒への本市の支援について伺いたい。
 - (3) 民間と連携した不登校児童生徒への支援について伺いたい。
 - (4) 不登校児童生徒への支援について、誰一人取り残すことがないように、中長期的な視点をみすえた取組が必要であると考えているが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 学校が一丸となって、不登校児童生徒への充実した支援を行っていただくことを要望する。

7 スクールソーシャルワーカー活用事業について

- (1) スクールソーシャルワーカー活用事業の効果について伺いたい。
- (2) 学校がスクールソーシャルワーカーを活用する上での課題について伺いたい。
- (3) スクールソーシャルワーカーなど、学校で働く専門職が教職員と連携して十分に力を発揮できるよう、待遇を改善すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(要望) スクールソーシャルワーカーの正規職員化などの体制拡充と強化に取り組んでいただきたい。

8 教職員の負担軽減について

(1) 職員室業務アシスタントの配置の効果について伺いたい。

(要望) 新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことで、再び職員室業務アシスタントが各校1名の配置に戻った場合、教職員の負担が増加してしまうのではないかと危惧している。教職員の負担軽減の視点から、アフターコロナの体制についてもしっかりと検討していただくことを要望する。

(2) 外部人材の活用に関する国への要望についての見解を教育長に伺いたい。

(要望) 外部人材の方々が、子供たちや教職員と人間関係を構築する時間を確保することが重要である。やりがいを持って安心して働くことができるよう恒久的な仕組みを検討していただきたい。

3 み わ 智恵美 委員（共産党）

1 教職員の働き方改革について

- (1) 令和元年度月100時間超の教職員の校種別の人数、実際に産業医面談を行った人数について伺いたい。
- (2) 令和元年度ストレスチェックで高ストレスと判定が出された割合と人数、実際に産業医面談を行った人数について伺いたい。
- (3) 長時間勤務者と高ストレス者について、産業医面談を受けていない教職員が多数いることをどのように考えているのか伺いたい。
- (4) 教職員の働き方改革プランの実践2年目の実態に関する受け止めについて、教育長に伺いたい。
- (5) 令和2年3月31日に公布された、横浜市立学校の教育職員が行う業務量の適切な管理等に関する規則の第3条第1項、教育職員が業務を行う時間の上限の範囲について伺いたい。
- (6) 令和2年度10月から1月の月45時間超の教職員の校種別の割合について伺いたい。
- (7) 規則で定めている時間外勤務月45時間以内が達成できていない大きな原因は何だと考えるか伺いたい。
- (8) 令和2年5月1日現在の欠員臨任、代替臨任の人数について伺いたい。
- (9) 令和2年12月1日時点の未配置の人数、未配置の意味について伺いたい。
- (10) 未配置による学校への影響について伺いたい。
- (11) 教育職員の未配置により、過剰勤務や子供たちに向けられるまなざしも削られることになる。子供たちに対してどのように考えているか伺いたい。
- (12) 欠員・未配置を出さない教育職員数を採用すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (13) 時間外勤務を月45時間以内、年360時間以内という規則を公布した責任を果たすべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (14) 余剰時数を減らすことに本気で取り組むべきと考えるが、教育長の見解を伺

いたい。

- (15) 余剰時数に関する国通知に対する考えについて伺いたい。
- (16) 6月の学校再開時の分散登校でクラスの人数が20人程度になったが、その時の教育職員や子ども達の反応や声を教育委員会はキャッチしているか伺いたい。
- (17) クラスの人数が20人程度になった時、どのような声があったか伺いたい。
- (18) 20人以下学級にしていくことについての見解を伺いたい。
- (19) 段階的に20人程度の学級にしていくことは、少子化の中で取り組むことができると考えるが、見解を伺いたい。
- (20) 中学生については、国は方針を示していないが、本市では35人以上の学級が多いため、積極的に進めていくべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (21) 全国の自治体で中学校における少人数学級の取組について伺いたい。

2 特別支援教育の拡充について

- (1) 自閉等と要配慮の増加についての見解を伺いたい。
- (2) 特別支援教育関連の研修を、さらに拡充していくべきである。あわせて、管理職への研修も実施していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 高等学校にも通級指導教室を設置するべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 中高一貫教育校における教育連携のあり方について

- (1) 中高一貫教育校においては、一貫教育校の中学校から進学してくる生徒の個別の課題について、どのように情報を収集しているのか伺いたい。
- (2) 中高一貫教育校における連携のための新たな取り組みについて伺いたい。
- (要望) 中高一貫教育校なので、子どもたち一人一人の心身の発達や個性の確立など正面から向き合って対応していただくよう要望する。

1 G I G Aスクール構想について

(1) 本格運用に向けた回線環境・通信環境の準備状況について

- ア 現在の整備状況について伺いたい。
- イ G I G Aスクールの通信回線の設計について伺いたい。
- ウ 生徒一人当たりの通信速度について伺いたい。
- エ 通信業者との回線契約の内容について伺いたい。
- オ 教育用ネットワークの構成の考え方について伺いたい。
- カ W i - F i 6 への対応等、拡張性の担保についての考えを学校教育企画部長に伺いたい。

(2) 著作物活用事業について

- ア 著作物活用に関する対応状況について伺いたい。
 - イ 現場の教員への案内について伺いたい。
- (要望) 著作物の活用については教育委員会で基準を明示し、子どもたちが存分にG I G Aスクールを使って学習ができるよう準備をしていただきたい。

(3) 災害時に学びを止めないための取組について

- ア 災害時に今回整備されるI C Tの活用は可能か伺いたい。
- イ 災害時に教育を継続していくための備えについて伺いたい。

2 プログラミング教育の取組について

- (1) 初年度の取組内容について伺いたい。
- (2) 今後のプログラミング教育の方向性について伺いたい。

3 教員に対する懲戒処分の公表について

- (1) 懲戒処分を行ったときの公表の考え方について伺いたい。
- (2) 被害者保護の観点から処分の公表について検討すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

4 東高校SDGs推進事業について

- (1) 東高校で持続可能な開発のための教育、ESDを推進している背景について伺いたい。
- (2) 東高校におけるESD推進の取組について伺いたい。
- (3) ESD推進の取組による生徒の変容について伺いたい。

5 多様なニーズに対応した教育の推進について

- (1) 開設から半年が経過した「鶴見ひまわり」のこれまでの取組状況について伺いたい。
- (2) 日本語支援拠点施設の関係機関との連携状況について伺いたい。
- (3) 日本語支援拠点施設のノウハウを教育のみに留めずに、広く共有し、活用していくべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

1 コロナ禍の卒業式・入学式について

- (1) 緊急事態宣言が解除された場合の卒業式及び入学式における対応について伺いたい。
- (2) 卒業式・入学式は昨年度と同じような運用になるのか伺いたい。
- (3) 令和2年度のコロナ禍における課題を踏まえ、柔軟な対応を学校に認めさせるべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 昨年の課題も踏まえて対応し、一人でも多くの子どもたちの笑顔と保護者の幸せをつくれるよう要望する。

2 誰一人取り残さないためのGIGAスクール事業の推進について

- (1) 不登校の生徒のための端末持ち出し開始時期について伺いたい。
- (2) 不登校の子ども達への教育のためにもAETを活用すべきと考えるが、学校教育企画部長の見解を伺いたい。
- (3) 将来的には放課後キッズクラブでも端末を活用できるように検討するべきと考えるが、学校教育企画部長の見解を伺いたい。

3 端末の活用推進に関する課題について

- (1) 端末をまず教育委員会や職員会議で活用し、先生方に慣れていただくべきと考えるが、学校教育企画部長の見解を伺いたい。
- (2) GIGA端末でのZoom等の活用の可否について伺いたい。
- (3) 教育活動でオンライン交流を積極的に進めて行くべきと考えるが、学校教育企画部長の見解を伺いたい。
- (4) 生徒が端末を壊した場合の対応について伺いたい。
- (5) 端末故障への国からの財政的支援について伺いたい。
- (意見) 端末を壊してしまった場合の補償については、必ず課題になる。端末を壊すことを恐れ、使用を控えてしまう恐れがあるため、教育委員会から国に対し

財政的支援を要望するべきである。

4 中学校生徒の髪型について

(1) ツーブロックはルール違反なのか伺いたい。

(2) 髪型をめぐる問題の本質について伺いたい。

(3) なぜ校則が必要なのか、その校則にどのような意味があるのかを教師もしっかり伝え、生徒も自分たちの意見を言って校則やルールの価値観を改めて全員で共有していくべきである。一方通行ではなく、こうした取組を横浜市の教育現場で進めていく必要があると考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(要望) 校則についてはいろいろな意見があるが、全員が納得することが重要である。考え方は時代によって変わるため、教育委員会としてもしっかり向き合っていたきたい。

5 2050年カーボンゼロを目指した学校の再エネ・省エネ化について

(1) 太陽光発電設置校における太陽光発電利用率について伺いたい。

(2) P P A設置校における再生エネルギー利用率の見込みについて伺いたい。

(3) 市立学校の電力をすべて再エネ化した時のコストについて伺いたい。

(4) 学校建て替えの際にZ E Bを目指した場合の追加コストについて伺いたい。

(5) 学校施設の省エネ・再エネ化の方向性について伺いたい。

(6) 市及び国も2050年ゼロカーボンを掲げており、学校のZ E B化、再エネ化を検討すべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

6 鈴木太郎 委員（自民党）

1 特別支援教育について

- (1) 保護者の付添解消の進捗状況について伺いたい。
 - (2) 付添解消の令和3年度の取組と予算措置について伺いたい。
 - (3) 通学保障の進捗状況について伺いたい。
 - (4) 通学保障の令和3年度の取組と予算措置について伺いたい。
 - (5) 医療的ケア児へのコロナの影響について伺いたい。
 - (6) 医療的ケア児支援法への対応について伺いたい。
 - (7) 国における特別支援学校の設置基準の策定状況について伺いたい。
 - (8) 特別支援学校の設置基準が設けられた場合、北綱島特別支援学校を分校から本校に戻すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 医療的ケア児支援法案が成立し、仮に地方交付税措置となった場合には、本市もしっかりと対応していただきたい。

2 教育委員会のデジタル化について

- (1) ICTを活用し医療的ケア児の教育機会を拡大すべきと考えるが、インクルーシブ教育担当部長の見解を伺いたい。
 - (2) これまで教育委員会で保有しているオリヒメに加えて、追加でオリヒメを配備するということがよいか伺いたい。
 - (3) GIGAスクールの進展に合わせ、ICTを活用し教職員の事務負担軽減を図るべきと考えるが、総務部長の見解を伺いたい。
 - (4) 教育分野のデジタル化を充実するため、教育委員会に特化した最高情報統括責任者として「教育委員会CIO」を設置すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 令和4年度教育委員会CIO設置に向けて検討していただきたい。